

第2学年 技術・家庭(家庭分野)学習指導案

令和3年9月28日(火)第5校時

1 題材名「健康・快適で持続可能な衣生活」B(4)ア(イ), (5)ア, イ

2 題材について

(1) 題材観

私たちの衣生活を取り巻く状況は、科学技術の進歩に伴って変化し、近年では繊維素材や既製のデザイン等が豊富になってきている。また、インターネットでも、それらの衣服が手軽に入手しやすくなり、良質で安価な衣服が大量に生産されている。それに伴い、補修すれば着ることのできる衣服を縫い直さず、そのまま廃棄をすることが多くなっている。着られなくなった衣服を有効的に活用しようという意識が低い。ため、「大量生産・大量消費・大量廃棄」型の経済社会となってしまっているのが現状である。

本題材は、持続可能な衣生活とは何かを考え、計画的に課題を解決する内容となっている。これからの社会を担う一員として、未来の人たちの生活のためにも、資源を大切に、自然や環境と調和した生活を考え、環境への負荷をできるだけ少なくしようとする行動が求められている。そのためには、自分で衣服を補修して大切に着用し、不要になったものは再利用や処分の仕方を工夫するなどして自分の衣生活を見直し、環境に配慮した生活を整える姿勢を身に付けさせたい。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、普段の学校生活では、友達と元気に話す様子が見られる。教師や友達の話はしっかり聞こうとするため、学習内容は深めやすい。しかし、授業中に積極的に自ら進んで発言をする生徒は限られる。

製作実習に関しては、小学校以来ミシンを使っていないという生徒も多い。また、ボタン付けやまつり縫いなどの補修を家族任せにして、自分でやったことがないという生徒はクラスの3分の2以上いる。これらの実態から、衣服の手入れや補修などを家庭で実践した経験は非常に少なく、衣服の管理を自分で行うという意識が低いと考えられる。

(3) 指導観

指導にあたっては、生徒が体験的・実践的な学習を通して、基礎縫いについての知識を習得することが大切であると考え。そのためには、基本的な技能の復習をしっかりと行い、個に応じた支援方法を考えることが重要である。そして、生活を豊かにするものの製作を通して、ものづくりの楽しさやものを大切にする心、自分や家族の生活をより豊かにすることの大切さを実感できるようにしたい。課題を設定し、生活を工夫して実践しようとする意欲と態度を育てたいと考えている。

3 題材の目標

- (1)よりよい生活の実現に向けて、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、適切な縫い方について理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。
- (2)資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (3)よりよい生活の実現に向けて、衣服の手入れ、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・衣服の計画的な活用必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 ・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	・資源や環境に配慮し、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・よりよい生活の実現に向けて、衣服の手入れ、布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

5 指導計画（総授業時数15時間）

- (1)資源や環境に配慮した衣生活とは……………1時間
- (2)衣服を大切にするための手入れ
(まつり縫い・スナップ付け・ミシン縫い)……………5時間（本時3／5）
- (3)生活を豊かにするエコバッグの製作……………9時間

6 本 時

(1)本時の目標

補修の目的と必要性を知り、正しい方法や手順で、丁寧にスナップを付けることができる。

[知識・技能]

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価
6分	1 本時の目標を確認する。	○前時までの確認をする。 ○スナップとはなにかを伝え、スナップがどのようなところに使われているかを考えることができるようにする。 ○幼児服やユニフォームを提示し、スナップの役割について考え、本時の活動への関心を高めるようにする。	
		衣服を大切にするために、スナップを正しく丈夫につけよう。	
10分	2 スナップの付け方を学ぶ。	○スナップの付け方についてのプリントを配付する。 ○一人一台端末で、スナップの付け方の動画を視聴することで適切な縫い方がわかるようにする。その際は、主に見た目の美しさや丈夫さに注目して見るよう助言する。 ○スナップを上手に縫うための3つのポイントを伝える。 ①裏に出ている縫い目を綺麗にする。 ②布にしっかりと縫い付ける。 ③玉結び・玉止めを目立たない場所にする。 ○よい付け方、悪い付け方を確認し、よりよい縫い方についてわかるようにする。	
26分	3 スナップを付ける練習をする。	○練習用の布とスナップを配付する。 ○実物投影機を使い、示範を行う。 ○練習布を使い、スナップ(凸型)を縫い付けることができるようにする。 ○一人一台端末の動画を見たり、付け方のプリントを見たりして進めるよう助言する。	スナップが正しく付けられている。 (練習布)
8分	4 本時のまとめをする。	○見本と比較しながら、自分の縫い方を振り返るように助言する。 ○次時の予告を行う。	【知識・技能】

(3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	スナップ付けの特徴や縫い方を習得し、上手に縫う3つのポイントをおさえ、スナップ付けができる。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的指導	スナップ付けのポイントを理解できるように動画を視聴したり、縫い方の見本を見たりすることで、縫い方を確認できるように個に応じた指導を工夫する。